

湖西市循環型社会形成推進地域計画

湖西市

平成 29（2017）年 12 月

平成 30（2018）年 11 月変更

令和 2（2020）年 11 月変更

令和 3（2021）年 12 月変更

令和 4（2022）年 12 月変更

令和 5（2023）年 12 月変更

目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項 -----	1
2	循環型社会形成推進のための現状と目標-----	3
3	施策の内容-----	8
4	計画のフォローアップと事後評価 -----	16

<添付書類>

添付書類 1	対象地域図 -----	17
添付書類 2	目標の設定に関するグラフ等 -----	18
添付書類 3	分別区分表 -----	19
添付書類 4	現有処理施設の概要 -----	20
様式 1	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 -----	21
添付書類 5	指標と人口等との要因に関するトレンドグラフ -----	24
添付書類 6	地域内の施設の現況と将来（位置図） -----	25
様式 2	循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 2 -----	26
様式 3	地域の循環型社会形成推進のための施策の一覧 -----	27
参考資料様式 1	施設概要（マテリアルリサイクル施設系） -----	28
参考資料様式 2	施設概要（エネルギー回収施設系） -----	30
参考資料様式 5	施設概要（最終処分場系） -----	31
参考資料様式 6	施設概要（浄化槽系） -----	32
参考資料様式 8	計画支援概要 -----	34
添付書類 7	浄化槽設置整備対象区域図 -----	38
添付書類 8	ハザードマップ -----	39

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

- ◇ 構成市町村名 湖西市
 - ◇ 面 積 86.56km²
 - ◇ 人 口 60,306 人（2017 年 4 月 1 日現在 外国人登録人口を含む）
- 参考として、対象地域図を添付資料 1 に示す。

(2) 計画期間

本計画は、2018 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの 6 年間を計画期間とする。
なお、目標の達成状況や社会情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

本市は、従前から一部事務組合でし尿を共同処理してきた旧新居町と、2010 年 3 月 23 日に合併し誕生した。

生活系ごみの収集体系は、合併による市民生活への影響を緩和するために、合併前の市域の湖西地区と旧新居町の新居地区それぞれで合併前の体系を基本的に維持している。ただし、分別区分・方法については統一が完了している。

合併前の湖西市においては、旧雄踏町、旧舞阪町とともに可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ等すべての一般廃棄物の共同処理を実施し、湖西市環境センター（焼却炉・リサイクルプラザ）及び笠子最終処分場を運営していた。旧雄踏町及び旧舞阪町の浜松市への合併による共同処理解消に伴い、可燃ごみ量の予測から、2010 年 10 月から浜松市に可燃ごみ処理を委託している。委託以後、循環型社会形成推進基本法における 3R（Reduce（発生抑制）、Reuse（再使用）、Recycle（再生利用））の考え方を推進し処理委託料の軽減に努めてきた。2024 年 1 月末に浜松市への可燃ごみ処理委託期間が終了するため、焼却施設を整備し可燃ごみの焼却処理を再開する。焼却再開手法についてはストックマネジメントの考え方を重視し、既存施設に対して基幹改良工事を実施し再稼働させる。焼却再開後も 3R を推進し、ごみの減量、再生利用及び適正処理を目指す。

事業系ごみについては、小規模事業所が多いことから、生活系ごみとの区分を徹底するとともに発生抑制・再生利用の推進を図る。

生活排水処理は、環境保全に対する市民の関心が高まる状況において、浜名湖等の豊かな水環境を将来にわたり維持していくため、公共下水道事業等の拡充及び接続率の向上、くみ取り便槽及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を進め、環境への負荷低減を図る。

(4) ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況について

静岡県ごみ処理広域化計画（1998 年 3 月静岡県策定）において、本市は西北遠広域処理圏域として、浜松市及び浜松市と合併した市町村と共に広域処理圏域を構成している。浜松市に合併した旧舞阪町・旧雄踏町と共に 1998 年より共同処理を実施してきたが、2005 年に旧舞阪町・旧雄踏町が浜松市と合併したことに伴い共同処理が解消され、逆に本市の可燃ごみの処理を浜松市に委託した。一方、不燃ごみや資源ごみの処理については、連携の議論が進まないまま、2017 年時点においては、浜松市へ可燃ごみ処理のみを委託している。

2024 年 1 月末日に浜松市への可燃ごみ処理委託期間が終了するため、2016 年度から 2017 年度にかけて、焼却施設の在り方及び本市のごみ処理の今後の方向性について検討した。

その結果、委託処理より本市でごみ処理施設を所有しごみ処理を行う方が、地震や水害のような災害が発生した際に市内で発生したごみを自家処理できること、安定したごみ処理を可能にすることで住環境の利便性が上がるといった優位性が認められ、種々の廃棄物を複合処理することにより経済的メリットも得られるとの結論に至った。さらに、本市が推進している職住近接の観点も踏まえた結果、本市では自前処理を進めることとした。

今後のごみ処理の広域化・施設の集約化については、ストックマネジメントの考え方を尊重し既存施設の有効活用の中で、現状のごみ処理施設の稼働期間中に検討を行う。

(5) プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

現在、市内で発生するごみのうち、プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律第 33 条第 2 項第 1 号に規定するプラスチック容器包装廃棄物及びそれ以外のプラスチック使用製品廃棄物の両方（以下、「プラスチック資源」）については、湖西市環境センターへ搬入された後に選別、圧縮を行い、適正に処理している。

当市におけるごみ処理の現状として、可燃ごみの処理を浜松市へ委託している一方で不燃ごみやプラスチックごみを含めた資源ごみは湖西市で処理している。

2024 年 1 月末日に浜松市への可燃ごみ処理委託期間が終了するため、2016 年度から 2017 年度にかけて、焼却施設の在り方及び本市のごみ処理の今後の方向性について検討した。その結果、現在休止している湖西市環境センター焼却施設の基幹的設備改良工事を実施し焼却施設を再稼働し、プラスチック資源は熱回収のために焼却する方針で決定した。その期間は、焼却施設が再稼働する 2024 年 2 月から 20 年間（2044 年 3 月末）を計画している。

2044 年 3 月以降については、社会情勢や法整備の動向を踏まえて現状のごみ処理施

設の稼働期間中に検討を行う。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 一般廃棄物等の処理の現状

2016 年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図 1 のとおりである。

総排出量は、集団回収量も含め、20,326 トンであり、うち可燃ごみ量は 13,156 トンである。再生利用される総資源化量は 8,228 トン、リサイクル率（＝（直接資源化量＋中間処理後の再生利用量＋集団回収量）／（ごみの総収集量＋集団回収量））は 40.5%である。

中間処理による減量化量は 11,007 トンであり、集団回収量を除いた排出量の 55.9%が減量化されている。また、同排出量の 5.5%に当たる 1,091 トンが埋め立てられている。

なお、中間処理量のうち、焼却量は 12,534 トンであり、浜松市に委託し焼却処理を行っている。また、焼却施設における余熱は発電、給湯及び冷暖房、温水プール等で利用されている。

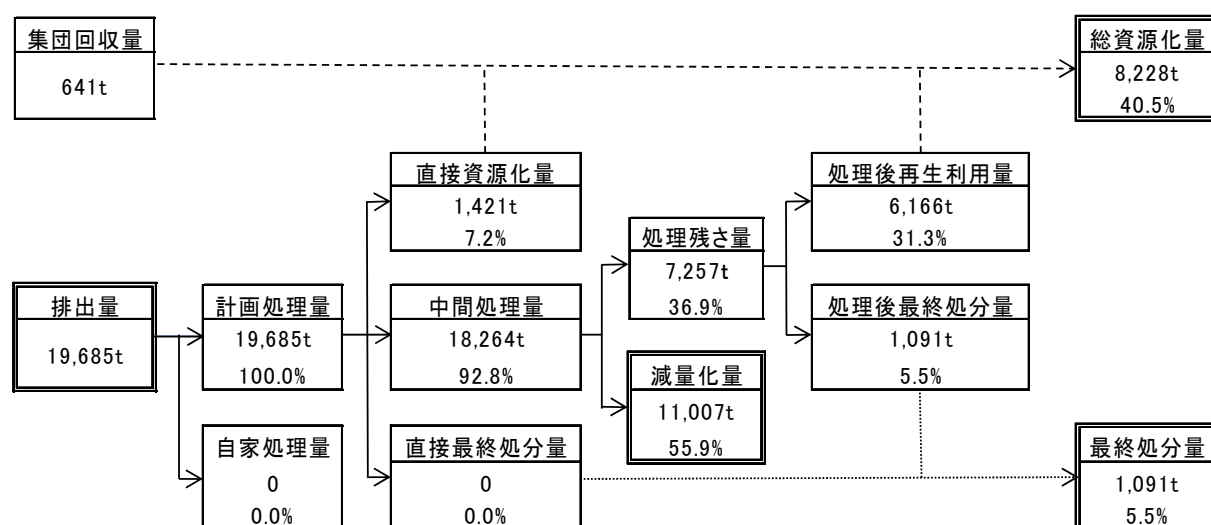


図 1 一般廃棄物の処理状況フロー(2016 年度)

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(2) 生活排水の処理の現状

2016 年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出量は図 2 のとおりである。

生活排水処理対象人口（総人口）は 60,306 人であり、生活排水処理人口は 41,301 人、汚水衛生処理率（＝生活排水処理人口（公共下水道＋合併処理浄化槽の各人口）／総人口）は 68.5％である。

浄化槽汚泥発生量は 27,627k1／年、し尿発生量は 2,072k1／年である。

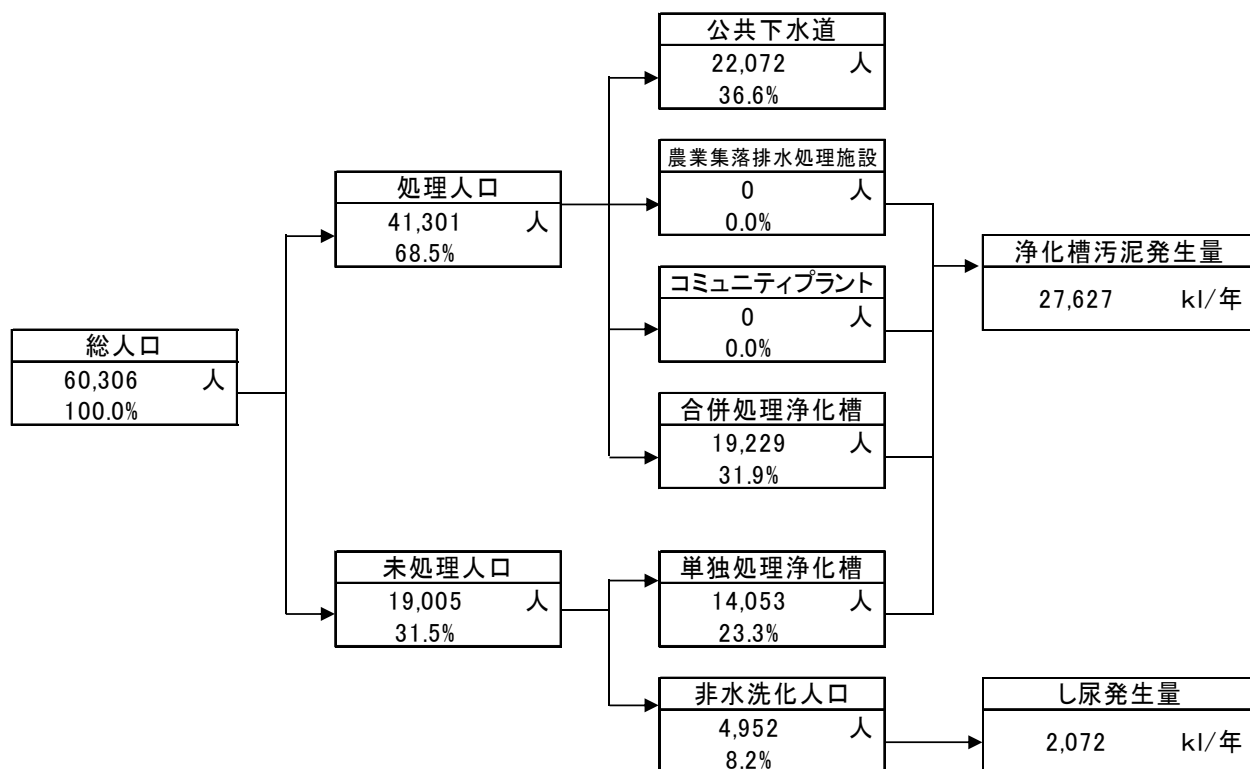


図 2 生活排水処理の処理状況フロー(2016 年度)

(3) 一般廃棄物等の処理の目標

計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め、循環型社会の実現を目指し、表 1 のとおり目標量を定め、それぞれの施策に取り組むものとする。

2024 年度の一般廃棄物の排出、処理状況は図 3 のとおり見込んでいる。

参考として、添付資料 2 に表 1 の内訳、添付資料 5 にごみ排出量の推移を添付する。

表 1 減量化、再生利用に関する現状と目標

指 標・単 位		現状(割合※1) (2016年度)	目標(割合※1) (2024年度)
排 出 量	事業系 総排出量	4,923 トン	5,059 トン (2.8%)
	1事業所当たりの排出量※2	2.14 トン/事業所	2.13 トン/事業所 -(0.5%)
	生活系 総排出量	14,762 トン	13,985 トン -(5.3%)
	1人当たりの排出量※3	244 kg/人	244 kg/人 (0.0%)
	合 計 排出量合計	19,685 トン	19,044 トン -(3.3%)
再生利用量	直接資源化量	1,421 トン (7.2%)	1,511 トン (7.9%)
	総資源化量	8,228 トン (40.5%)	6,692 トン (34.5%)
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量)	4,867 MWh ※4	708 MWh
最終処分量	埋立最終処分量	1,091 トン (5.5%)	1,884 トン (9.9%)

※1 排出量は現状に対する割合

総資源化量は排出量と集団回収量の和に対する割合

その他は排出量に対する割合

※2 (1事業所当たりの排出量)=[(事業系ごみの総排出量)-(事業系ごみの資源ごみ量)]/(事業所数)

事業所数:2016;2,305事業所(2016実績値)、2024;2,374事業所(2024推計値を採用)

※3 (1人当たりの排出量)=[(生活系ごみの総排出量)-(生活系ごみの資源ごみ量)]/(人口)

計画収集人口:2016.10.1;60,493人(実績)、2025.3.31;57,367人(推計値)

※4 現状のエネルギー回収量は、浜松市の施設における発電量のごみ量按分

《用語の定義》

排 出 量:事業系ごみ、生活系ごみを問わず、出されたごみの量(集団回収されたごみを除く。)[単位:トン]

再生利用量:集団回収量、直接資源化量、中間処理後の再生利用量の和[単位:トン]

エネルギー回収量:エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量[単位:MWh]

減量化量:中間処理量と処理後の残さ量の差[単位:トン]

最終処分量:埋立処分された量[単位:トン]

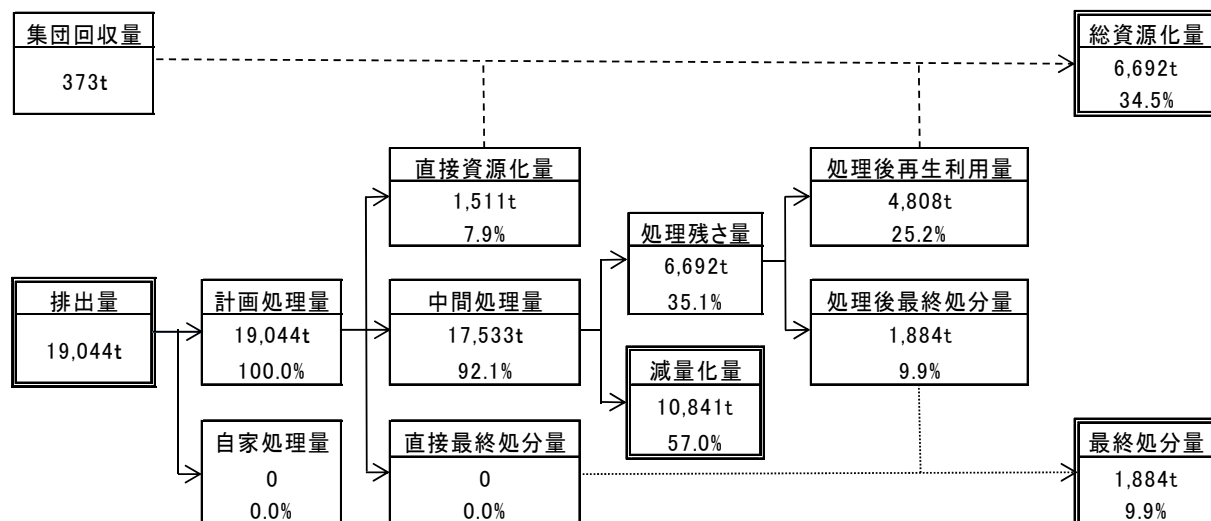


図 3 目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー(2024 年度)

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

(4) 生活排水処理の目標

本計画の計画期間中においては、汚水衛生処理率の向上及び循環型社会の実現を目指し、表 2 のとおり目標量を定め、それぞれの施策に取り組むものとする。また、図 4 に目標達成時の生活排水処理状況フローを示す。添付資料 5 に処理形態別人口の推移を添付する。

表 2 生活排水処理に関する現状と目標

区 分		2016年度実績		2024年度目標	
処理形態別人口	公共下水道人口	22,072 人	(36.6%)	28,533 人	(49.6%)
	合併処理浄化槽等人口	19,229 人	(31.9%)	18,543 人	(32.2%)
	未処理人口	19,005 人	(31.5%)	10,493 人	(18.2%)
	合 計	60,306 人	(100.0%)	57,569 人	(100.0%)
し尿・汚泥の量	くみ取りし尿量	2,072 kl		1,752 kl	
	浄化槽汚泥量	27,627 kl		19,856 kl	
	合 計	29,699 kl		21,608 kl	

※表中の割合は、総人口に対する割合を示す。

※2024 年目標値の合計人口は 2024. 3. 31 人口(推計値)で設定した。

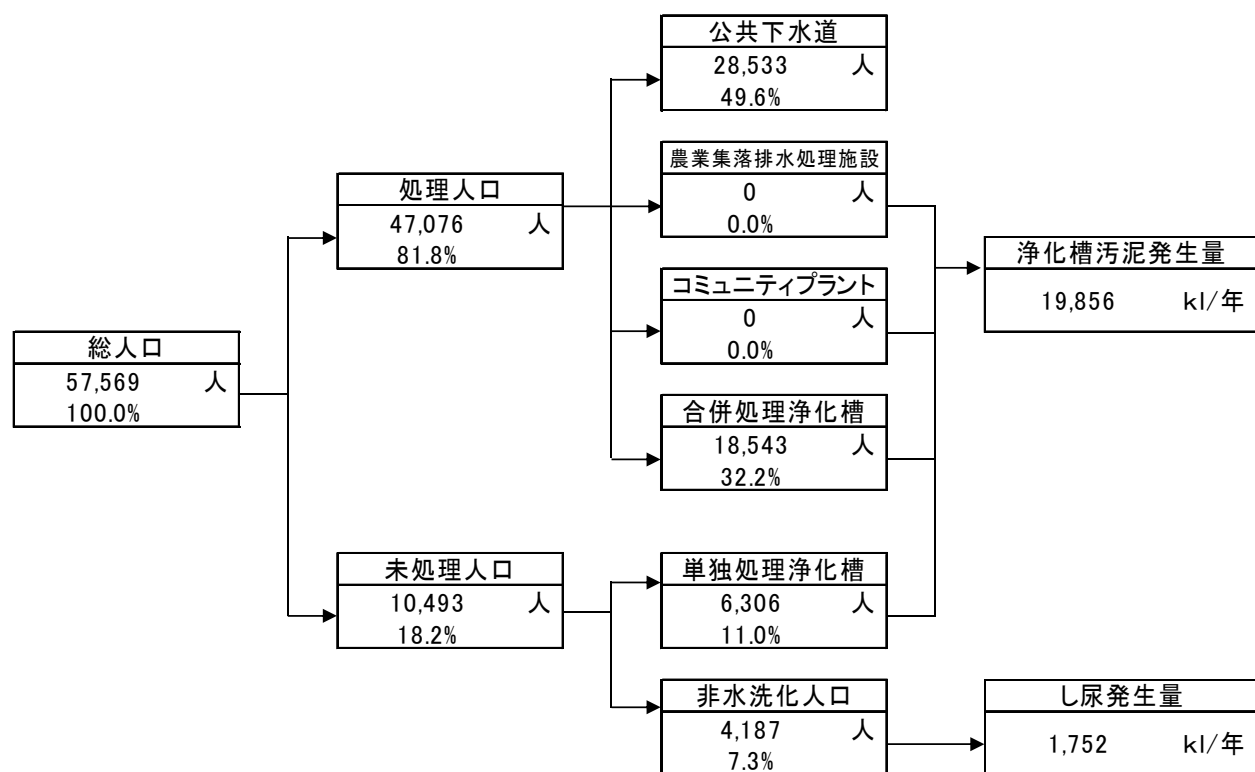


図 4 目標達成時の生活排水処理状況フロー（2024 年度）

3 施策の内容

(1) 発生抑制・排出抑制・再使用の推進

ア 有料化（ごみ処理手数料の徴収）

国は、ごみの排出抑制や再生利用の推進、ごみの排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革を進めるため、ごみ処理の有料化を推進する考えを示している。本市においてはステーション回収における可燃ごみ及び不燃ごみ、直接搬入による粗大ごみ等の有料化を導入済みである。今後、排出量の増加の見込まれる資源ごみや剪定枝・草についても有料化を検討する。また、同様に手数料の見直しを実施する。

イ 環境教育、普及啓発

本市ではこれまで環境教育として、ごみの減量、再生利用及び適正処理の普及・啓発を目的に、「出前講座」を実施し3Rの推進を行ってきた。今後は引き続きごみ問題の現状と課題について広く市民、事業者等に理解してもらうことを目的に出前講座等の環境学習活動の施策の継続・強化を図っていく。

また、市民、自治会等が行っている廃棄物一時集積所（ごみステーション）や資源物回収拠点の管理活動が今後も継続されるよう支援する。

ウ ごみ減量に関する助成

本市ではこれまで環境教育、普及啓発において、特に生ごみ消滅型容器キエーロの無償配布事業や生ごみ堆肥化容器購入補助事業について、重点啓発を実施してきた。今後も継続し、生ごみ減量を中心に市民への定着を図る。

エ 生活排水対策

市民が行動に移すための動機付けとなる情報、広く市民に協力を求めるべき事項、各種の補助・支援制度等について、広報誌やインターネット等を用いた情報発信を今後も継続する。

また、市民運動としての「川や湖をきれいにする運動」への取組等により、水質保全の様々な啓発活動を支援する。

(2) 処理体制

ア 生活系ごみの処理体制の現状と今後

生活系ごみの分別区分及び処理方法については、表3のとおりである。

一般廃棄物の処理は、委託先である浜松市の可燃ごみ処理方法に従い分別を行っている。委託処理単価とリサイクル経費との比較で資源化を促進してきた。今後は

本市における可燃ごみ処理方針に基づいた処理体系を確立する。

現在、湖西地区及び新居地区で分別方法は統一済みであるが、びん、缶、ペットボトル等の資源類の収集方法に差異がある。また、一部の資源化作業においてストックヤードが不足し効率的な資源化処理が困難となっている。今後は分別の徹底を行い、より効率的な収集方法及び処理方法を検討し、安定的な処理継続を目指す。

可燃ごみについては、「湖西市と浜松市との間の一般廃棄物の処分に関する事務の委託に関する規約」に基づき、2010年10月から継続してきた処理委託が2024年1月末日に満了することから、自前処理を行うため、湖西市環境センターの焼却炉の再稼働に向け施設整備を実施する。焼却炉の整備に伴い、併設されるリサイクルプラザの延命化も実施する。

また、この施設整備を契機として、焼却形式により増大を余儀なくされる最終処分量の削減及び効率的な処理を目指し、不燃物の分別の徹底をはじめとする処理方法の見直しを行う。

さらに、安定的な最終処分の確保のため、次期地域計画で新たな一般廃棄物最終処分場を整備するために必要な検討や設計等を実施する。

イ 事業系ごみの処理体制の現状と今後

現在、事業系ごみは、事業者が本市の許可した一般廃棄物収集運搬業者に収集を委託するか、事業者が直接環境センターへ搬入している。事業者の排出する剪定枝・竹・草の資源化の実施により、事業系ごみの総排出量としては増加傾向にある。

今後も同様の処理体制とし、廃棄物処理施設に搬入されたものは、生活系ごみと同様に適正処理と併せて、資源回収やエネルギー回収を進める。また、事業者の排出する剪定枝・竹・草については、資源化を行うとともに、引き続き減量化を指導し事業所による資源化システムの構築を目指す。

また、現在外部委託している衛生プラント脱水汚泥についても、焼却再開に伴い自前処理を進める。

ウ 一般廃棄物処理施設で併せて処理する産業廃棄物の現状と今後

現在、産業廃棄物の処理を実施していないが、他市において下水道汚泥等の併せ処理を行っている例があり、焼却施設の整備に伴い併せ処理を検討していく。

また、今後焼却施設の整備に伴う資源循環の拡大のために、生活系ごみと同等の廃プラスチック類を中心に一般廃棄物処理施設で処理する可能性について、地域振興のための事業者支援の視点から技術面、経済面等を考慮し幅広く調査、研究を行う。

エ 生活排水処理の現状と今後

下水道整備区域における生活排水処理については、従来どおり下水道による処理を推進し、さらに下水道供用開始区域において、接続率（水洗化率）の更なる向上を図る。それ以外の区域においては、合併処理浄化槽による処理を行う。

合併処理浄化槽の設置については、合併前の湖西市は 1995 年度から、旧新居町は 1997 年度から、「合併処理浄化槽設置整備事業補助制度」を制度化して、閉鎖性水域である浜名湖の生活排水対策を行ってきた。

合併後においても、「湖西市浄化槽設置整備事業」として従来どおり合併処理浄化槽設置の補助を継続している。また、特に生活雑排水が問題となっているくみ取り便槽及び単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への設置替えに補助金を上乘せするとともに、窒素除去能力の優れた高度処理型合併処理浄化槽設置を条件に補助を行い、積極的に生活排水の処理対策を推進する。

し尿・浄化槽汚泥の処理については、湖西市衛生プラントにより処理を行ってきた。2013 年度から 2016 年度にかけての大規模改修工事が完了し、今後は将来のし尿・浄化槽汚泥収集量の推移及び性状変動を勘案して、施設の改造・補修等の経済的かつ効率的な施設運営について検討する。

オ 今後の処理体制の要点

今後の処理体制に係る要点は、次のとおりである。

- ◇現に不足している小型家電類の保管場所の確保及び分別細分化によるリサイクルの推進のため、旧環境センター跡地にストックヤードを整備する。
- ◇本計画期間においては、浜松市への可燃ごみ委託期間が満了する 2024 年 2 月以降の可燃ごみ処理方法として、2010 年に休止した環境センターの焼却施設の再稼働を計画しており、2021 年度から 2023 年度までの計画期間で基幹改良工事を実施する。
- ◇焼却施設の基幹改良工事に併せて、併設されているリサイクルプラザの延命化のため、基幹改良工事を実施する。
- ◇焼却施設の再稼働に伴い発生する焼却灰の最終処分を安定的に確保するため、新たな一般廃棄物最終処分場の整備に必要な検討や設計等を実施する。
- ◇下水道が未整備の地域について、合併処理浄化槽の整備を推進する。
- ◇生活雑排水の適正処理を進めるため、単独処理浄化槽の合併処理浄化槽への転換を促進する。
- ◇高度処理型合併処理浄化槽の設置を推進する。

表 3 湖西市の生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現状(2016年度)				
湖西市				
分別区分	処理方法		処理施設等	処理実績 (トン)
可燃ごみ	焼却	蒸気利用・発電	南部清掃工場(浜松市) 西部清掃工場(浜松市)	9,100
不燃ごみ・粗大ごみ	複合	選別 破碎 焼却 埋立	湖西市環境センター (リサイクルプラザ)	1,588
資源物 (びん)	リサイクル	選別 破碎		332
資源物 (缶・ペットボトル)		選別 圧縮		298
廃プラスチック		選別 圧縮		433
剪定枝・竹・草		選別・破碎		1,549
古紙・古布	リサイクル	売却		1,421
白色トレイ		減容		13
パソコン・携帯電話		選別		7
乾電池・蛍光灯		選別		16
天ぷら廃油		民間委託		5



今後(2024年度)					
湖西市					
分別区分	処理方法		処理施設等		処理実績 (トン)
			一次処理	二次処理	
可燃ごみ	焼却 (熱回収)	蒸気利用	湖西市環境センター (焼却炉)	(焼却灰) 笠子廃棄物処分場	8,439
不燃ごみ・粗大ごみ	複合	選別 破碎 焼却 埋立	湖西市環境センター (リサイクルプラザ)	(可燃残さ) 焼却 (不燃残さ) 埋立 (金属等) 売却	1,367
資源物 (びん)	リサイクル	選別 破碎		売却	307
資源物 (缶・ペットボトル)		選別 圧縮		売却	262
廃プラスチック	焼却 (熱回収)	蒸気利用	湖西市環境センター (焼却炉)	(焼却灰) 笠子廃棄物処分場	401
剪定枝・竹・草 (ステーション回収分)					700
剪定枝・竹・草 (直接搬入分)	リサイクル	破碎	湖西市環境センター (リサイクルプラザ)	売却	974
古紙・古布		売却			1,524
白色トレイ	焼却 (熱回収)	蒸気利用	湖西市環境センター (焼却炉)	(焼却灰) 笠子廃棄物処分場	13
パソコン・携帯電話	リサイクル	選別	湖西市環境センター (リサイクルプラザ)	売却	5
乾電池・蛍光灯		選別		資源化	15
天ぷら廃油		民間委託			5

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

7 頁 3 (2) の処理体制を実現するために、表 4 のとおり必要な処理施設の整備を行う。

表 4 整備する処理施設

事業 番号	整備施設種類 施設名	事業 名	規模等	設置予定地	事業 期間
1	マテリアルリサイクル推進施設 (仮称) 湖西市環境センター ストックヤード	湖西市環境センターストックヤード整備事業	3,000 m ²	湖西市吉美	2020～2023
2	エネルギー回収推進施設 (先進的設備導入事業) 湖西市環境センター (焼却炉)	湖西市環境センター基幹改良事業	102t/日	湖西市吉美	2021～2023
4	マテリアルリサイクル推進施設 (先進的設備導入事業) 湖西市環境センター (リサイクルプラザ)	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事	30t/5h	湖西市吉美	2021～2024 2023.5.8 発災の火災により 事業期間を 1 年延長
5	最終処分場 (仮称) 湖西市新最終処分場	最終処分場整備事業	93,000 m ²	湖西市 白須賀	2024～2030 ※次期計画

※ 参考として、添付資料 4 に現有施設の概要を添付する。
(整備理由)

事業番号 1 再生利用の推進

事業番号 2 既存施設の老朽化、エネルギー回収推進、温室効果ガス排出量削減
(5%以上)

事業番号 4 既存施設の老朽化、温室効果ガス排出量削減 (3%以上)

事業番号 5 既設最終処分場の容量逼迫

イ 合併処理浄化槽の整備

表 5 のとおり整備し、生活排水の処理を行う。

表 5 合併処理浄化槽への移行計画

事業 番号	事業 名	直近の整備済基数 (基) (2016 年度)	整備計画基数 (基)	整備計画人口 (人)	事業 期間
3	湖西市浄化槽 設置整備事業	2,798	948	2,427	2018～2023

(整備理由)

事業番号 3 下水道計画区域外の汚水衛生処理率の向上及び単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換並びに高度処理型合併処理浄化槽の設置等の推進

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表 6 のとおり計画支援事業を行う。

表 6 実施する計画支援事業

事業 番号	事業名	事業内容	事業期間
31	湖西市環境センターストックヤード整備事業 (事業番号 1) に係る発注仕様書作成等調査事業	事前調査、発注仕様 書作成、基本設計等	2018～2022
32	湖西市環境センター基幹改良事業(事業番号 2) に係る計画支援事業	PF1 導入可能性調査、 PF1 アドバイザリー、 生活環境影響評価等	2018～2020
34	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事 (事業番号 4) に係る計画支援事業	PF1 アドバイザリー	2019～2020
36	(仮称) 湖西市新最終処分場整備事業(事業番 号 5) に係る計画支援事業	基本設計、地盤改良 工事実施設計	2023～2023

(5) 廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援事業

(3)の施設整備に先立ち、表 7 のとおり長寿命化計画支援事業を行う。

表 7 実施する長寿命化総合計画策定支援事業

事業 番号	事業名	事業内容	事業期間
33	湖西市環境センター基幹改良事業に係る長寿命化 計画策定事業	長寿命化計画の作成	2018
35	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事に 係る長寿命化計画策定事業	長寿命化計画の作成	2019

(6) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していくこととする。

ア 再生利用品の需要拡大事業

市民、事業者、市民団体、自治会、行政の協力体制のもとで、以下の取組を行う。

- ① 本市は自らの事業等において、資源の循環を推進するため、グリーン購入や再生品活用を優先させる。
- ② 市民、事業者、市の三者の協力を基本として、インターネット等を利用した不用品交換等の再生品利用を促進する。
- ③ リサイクル品の購入を促す手法についても調査・研究を行う。

イ 資源化処理の継続・推進

リサイクルプラザを中心に実施している資源化処理の推進継続を図るため、処理の合理化を図るとともに安定継続のために費用対効果を検証し、需要や効率的なリサイクル技術に即した資源化を念頭に以下の取組を行う。

- ① 剪定枝・竹・草のチップ化事業の効率化を行い安定実施する。
- ② 古紙・古布回収拠点について増設を検討する。
- ③ 焼却灰の有効利用方法の調査・研究を行う。

ウ 小型家電のリサイクルの普及・推進

小型家電のリサイクルについては、環境センターに搬入された小型家電の分別細分化を図るとともに、特定家庭用機器再商品化法に基づく適切な回収、再商品化がなされるよう、関連団体や小売店等と協力してリサイクルの普及啓発を行う。

エ 不法投棄対策

不法投棄を防止するため、市民、県、警察及び愛知県豊橋市との連携を図り、不法投棄の監視体制を強化するとともに未然防止に取り組む。また、不法投棄に対して、適切かつ迅速な現状回復を推進する。

オ 災害時の廃棄物処理に関する事項

災害時に発生する廃棄物の処理は湖西市災害廃棄物処理計画に基づき行う。災害などにより一時的に市内あるいは広域内でのごみ処理等が不可能になった場合は、災害援助協定に基づき、施設間の連携のもと適正処理を行う。災害援助協定に関して、以下の協定により協力体制をとる。

廃棄物に関する協定

- ・ 県内市町村との一般廃棄物処理に関する災害時の相互援助に関する協定
(2001 年 3 月 30 日)
- ・ 災害支援協力に関する協定書（し尿運搬事業者 3 社）
(2017 年 6 月 9 日)

その他一般的な災害協定

- ・ 災害時相互応援協定書（長野県木曽町）
(2011 年 10 月 12 日)
- ・ 災害時相互応援協定書（宮城県登米市）
(2012 年 3 月 12 日)
- ・ 災害時における相互応援に関する協定書（埼玉県蕨市）
(2012 年 8 月 30 日)
- ・ 災害時相互応援協定書（宮城県大和町）
(2014 年 3 月 11 日)
- ・ 三遠南信災害時相互応援協定（愛知県東三河、静岡県遠州及び長野県南信州）
(2014 年 11 月 1 日)

また、災害時に発生する廃棄物の仮置場として、廃棄物処理施設の敷地をはじめ適切な用地を確保するとともに民間廃棄物処理事業者との連携方法も研究する。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本市は毎年、計画の進捗状況を把握し、結果を公表するとともに、結果に対する意見交換を各関係者間で行いながら、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果を取りまとめ、計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

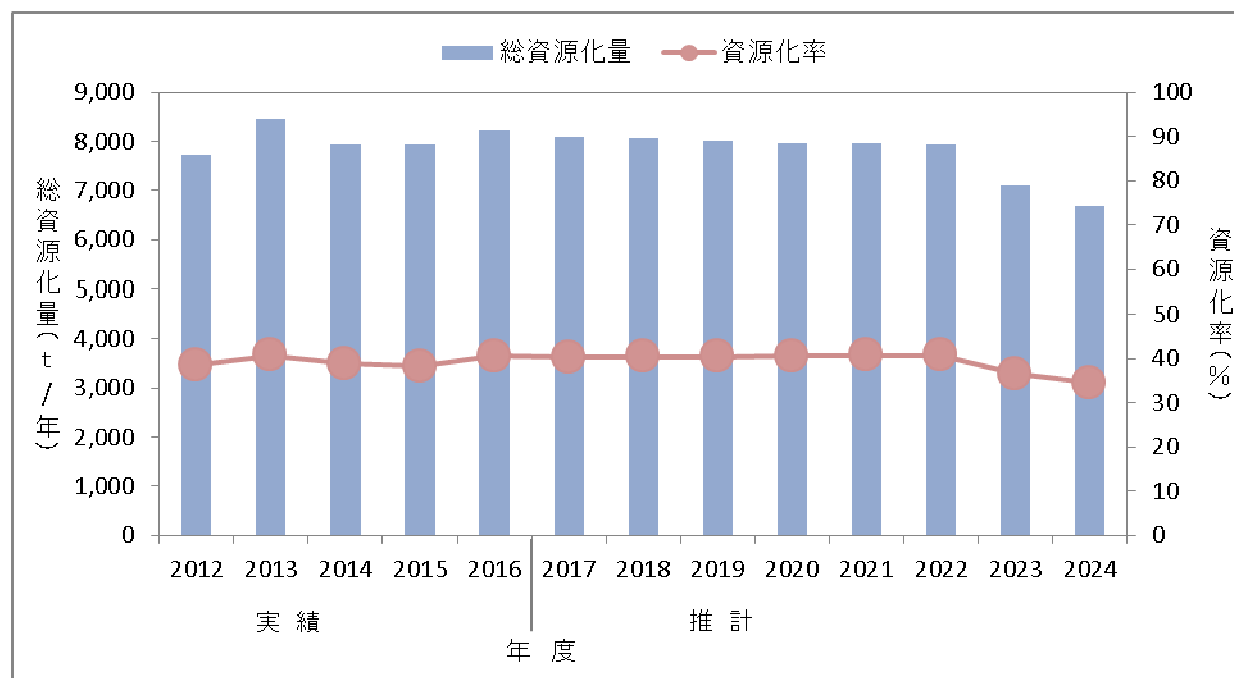
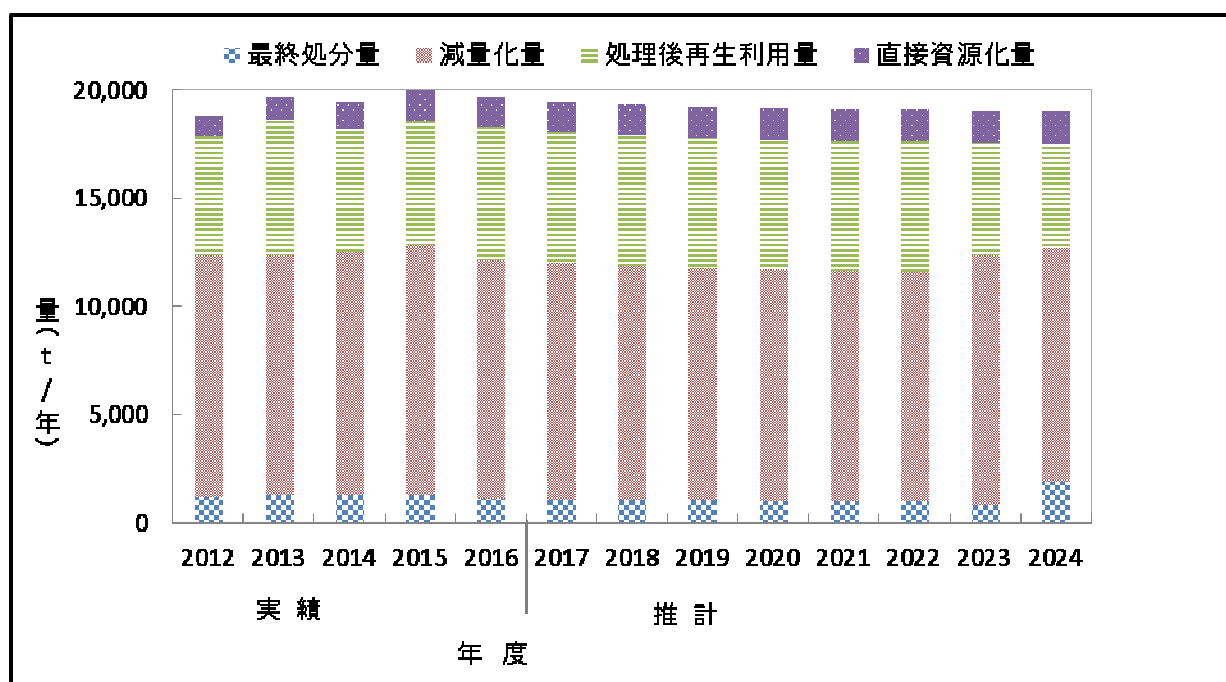
また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させる。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直す。

対象地域図



目標の設定に関するグラフ等



分別区分表

分 別 種 別	回 収 方 法	
	湖西地区	新居地区
可燃ごみ	ステーション回収	ステーション回収
不燃ごみ	ステーション回収	ステーション回収
粗大ごみ	直接持込	直接持込
資源物		
びん	拠点回収	ステーション回収
飲料水缶	拠点回収	ステーション回収
ペットボトル	拠点回収	拠点回収
プラスチック類容器包装	拠点回収	拠点回収
白色トレイ	拠点回収	拠点回収
紙・繊維類	拠点回収	拠点回収
草・木、竹類	ステーション回収	ステーション回収
廃食油	ステーション回収	ステーション回収
パソコン、携帯電話等	拠点回収	拠点回収
その他		
乾電池	ステーション回収	ステーション回収
蛍光管	直接持込	直接持込

現有処理施設の概要

【焼却施設】

施設名称	施設形式	稼動年月	施設規模 (t/日)	1炉の能力 (t/日)	炉数 (炉)	熱利用状況等
湖西市環境センター	全連続燃焼式	1998.7竣工 2010.11休止	120	60	2	休止中
(旧) 湖西市環境センター	機械化バッチ式	1981.3竣工 1998.6廃止	60(t/16h)	30(t/16h)	2	廃止済み
新居焼却場	機械化バッチ式	1992.3竣工 2011.3廃止	25(t/8h)	12.5(t/8h)	2	廃止済み

【不燃・粗大・資源化施設】

施設名称	施設の種類	稼動年月	施設規模	処理方式
湖西市環境センター	リサイクルプラザ	1998.7 竣工	30t/5h	引裂式破砕機 衝撃・せん断式破砕機

【最終処分場】

施設名称	埋立開始年	埋立期間	埋立面積 (m^2)	全体容量 (m^3)	埋立方法	水処理 (有無)
笠子廃棄物処分場（一廃）	H2.4	57年8ヶ月	14,230	143,575	セル&サンドイッチ工法	有
笠子廃棄物処分場（産廃）	H2.4	45年5ヶ月	18,540	198,165	安定型	無
新居一般廃棄物処分場	S59.4	50年	6,555	81,073	セル&サンドイッチ工法	有

【し尿処理施設】

施設名称	処理方式	稼動年月	施設規模 ($KL/日$)
湖西市衛生プラント	(主処理) 標準脱窒素処理 (高度処理) 凝集分離+砂ろ過+活性炭吸着	1963.11 竣工 2016.8 改修	92.3

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1（2017年度）

1 地域の概要

(1)地域名	湖西市地域	(2)地域内人口	60,306 人	(3)地域面積	86.56 km ²
(4)構成市町村等名	湖西市	(5)地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況					

2 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位		過去の状況・現状（排出量に対する割合）					目標
		2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2024年度
排出量	事業系 総排出量（トン）	4,898	4,628	4,759	4,865	4,923	5,059（2016比 +2.8%）
	1事業所当たりの排出量（トン/事業所）	2.04	1.93	1.97	2.06	2.14	2.13
	生活系 総排出量（トン）	14,929	15,086	14,733	15,109	14,762	13,985（2016比 -5.3%）
	1人当たりの排出量（kg/人）	241	245	240	247	244	244
	合 計 事業系生活系排出量合計（トン）	19,827	19,714	19,492	19,974	19,685	19,044（2016比 -3.3%）
再生利用量	直接資源化量（トン）	983（5.2%）	1,088（5.5%）	1,252（6.4%）	1,395（7.0%）	1,421（7.2%）	1,511（7.9%）
	総資源化量（トン）	7,722（38.5%）	8,463（40.7%）	7,936（38.8%）	7,922（38.2%）	8,228（40.5%）	6,692（34.5%）
エネルギー回収量	エネルギー回収量（年間の発電電力量 MWh）	4,624	4,996	4,601	4,831	4,867	708
減 量 化 量	減量化量（中間処理前後の差 トン）	11,172（59.3%）	11,024（55.9%）	11,264（55.9%）	11,578（58.0%）	11,007（55.9%）	10,841（57.0%）
最 終 処 分 量	埋立最終処分量（トン）	1,186（6.3%）	1,317（6.7%）	1,269（6.5%）	1,264（6.3%）	1,091（5.5%）	1,884（9.9%）

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。（別添1）

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定								
(1) 現有施設リスト								
施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	開始年月	廃止又は休止(予定)年月	解体(予定)年月	備考
リサイクルセンター	湖西市環境センター	湖西市	せん断式破砕機 回転式破砕機 減溶処理 選別	30t/5h	1998.7			
焼却施設	湖西市環境センター	湖西市	旋回流型流動床式焼却炉 全連続式	120t/日	1998.7	2010.11休止		
焼却施設	(旧)湖西市環境センター	湖西市	ストーカ方式 機械式バッチ方式	60t/16h	1981.3	1998.6廃止	2022.3解体	
焼却施設	新居焼却場	湖西市	ストーカ方式 機械式バッチ方式	25h/8h	1992.3	2011.3廃止		
最終処分場	笠子廃棄物処分場	湖西市	サンドイッチ方式 (セル工法併用)	143,575m ³	1990.4			一般廃棄物
最終処分場	笠子廃棄物処分場	湖西市	安定型	198,165m ³	1990.4	2011.3廃止		産業廃棄物
最終処分場	新居廃棄物処分場	湖西市	サンドイッチ方式 (セル工法併用)	81,073m ³	1984.4	2022.12埋立終了予定 2024.12廃止予定		
し尿処理施設	湖西市衛生プラント	湖西市	(主処理)標準脱窒素処理 (高度処理)凝集分離＋砂ろ過＋活性炭吸着	92.3kL/日	1963.11 竣工 2016.8 改修			
(2) 更新(改良)・新設施設リスト								
施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工予定年月日	更新(改良)・新設理由	廃焼却施設の解体の有無及び解体施設の名称	備考
リサイクルセンター	湖西市環境センター	湖西市	引裂式破砕機 衝撃・せん断式破砕機	30t/5h	2025.3	既存施設の老朽化、温室効果ガス排出量削減のための基幹的設備改良	－	2023.5.8発災の火災により竣工予定年月日を変更
焼却施設	湖西市環境センター	湖西市	旋回流型流動床式 焼却炉 全連続式	102t/日	2024.2	既存施設の老朽化、熱回収推進、温室効果ガス排出量削減のための基幹的設備改良	－	
最終処分場	(仮称) 湖西市新廃棄物処分場	湖西市	サンドイッチ方式 (セル工法併用)	約93,000m ³	2030.11	焼却施設の再稼働等に伴う既設最終処分場の容量逼迫	－	※次期地域計画で整備する施設だが、今期計画期間中に計画支援を実施するため記載

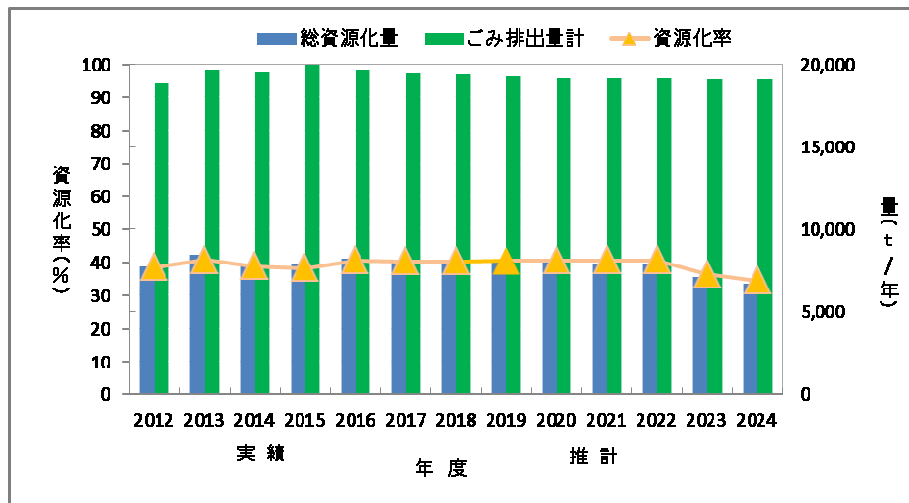
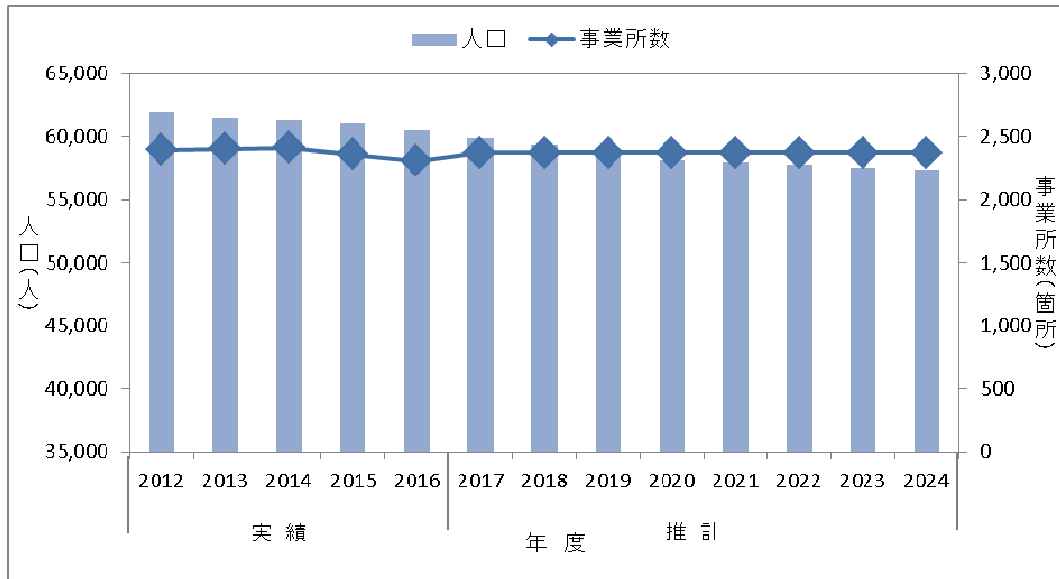
4 生活排水処理の現状と目標

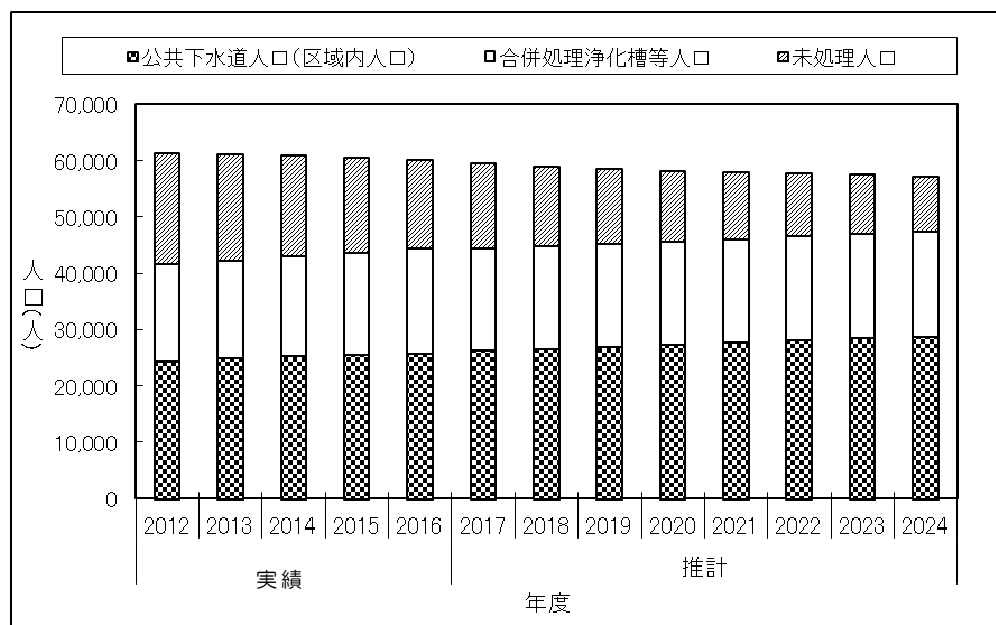
指 標・単 位		年 度	過去の状況・現状（排出量に対する割合）						目 標
		2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2024年度	
総 人 口			61,861	61,486	61,248	61,027	60,628	60,306	57,569
公 共 下 水 道	汚水衛生処理人口		17,818	18,798	19,674	20,566	21,122	22,072	28,533
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率		28.8%	30.6%	32.1%	33.7%	34.8%	36.6%	49.6%
合 併 処 理 浄 化 槽 等	汚水衛生処理人口		18,282	18,278	18,235	18,456	18,882	19,229	18,543
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率		29.6%	29.7%	29.8%	30.2%	31.1%	31.9%	32.2%
未 処 理 人 口	汚水衛生未処理人口		25,761	24,410	23,339	22,005	20,624	19,005	10,493

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施 設 種 別	事業主体	現 有 施 設 の 内 容			整備予定基数の内容			備 考
		基 数(基)	処理人口(人)	開始年月	基 数(基)	処理人口(人)	目 標 年 度	
浄化槽設置整備事業	湖西市	2,798	7,163	1995.4	948	2,427	2024	

指標と人口等との要因に関するトレンドグラフ





地域内の施設の現況と将来（位置図）

・湖西市環境センター
（旧環境センター跡地ストックヤード）

凡例

- ：清掃工場
- ▲：し尿処理施設
- ：最終処分場

凡例

- ：改修予定清掃工場
- ：清掃工場
- ▲：し尿処理施設
- ：最終処分場



・湖西市環境センター

・新居焼却場（廃止済）

・（旧）環境センター（廃止済）

・笠子廃棄物処分場

・湖西市衛生プラント

・新居一般廃棄物処分場

・笠子廃棄物処分場

・湖西市衛生プラント

・新居焼却場（廃止済）

・新居一般廃棄物処分場

様式2

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(2017年度)

事業種別 事業名称	事業番号 ※1	事業主体 名称	規模		事業期間 交付期間		総事業費(千円)							交付対象事業費(千円)							備考
			単位	開始	終了		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度		
○ マテリアルリサイクル等に関する事業							1,088,970	0	0	60,090	376,673	185,314	466,893	933,799	0	0	57,113	341,937	166,780	367,969	
リサイクルセンター 湖西市環境センターリサイクルプラザ 改良工事 ストックヤード整備 湖西市環境センターストックヤード整 備事業							776,701	0	0	0	150,113	185,314	441,274	633,882	0	0	0	121,122	166,780	345,980	
	4	湖西市	30	t/5h	2021	2023	776,701	0	0	0	150,113	185,314	441,274	633,882	0	0	0	121,122	166,780	345,980	2024年度へ 繰越
							312,269	0	0	60,090	226,560	0	25,619	299,917	0	0	57,113	220,815	0	21,989	
	1	湖西市	3,000	m	2020	2023	312,269	0	0	60,090	226,560	0	25,619	299,917	0	0	57,113	220,815	0	21,989	
○ エネルギー回収等に関する事業							5,006,503	0	0	0	276,182	3,184,947	1,545,374	4,400,000	0	0	0	227,628	2,824,747	1,347,625	
湖西市環境センター基幹改良事業	2	湖西市	102	t/日	2021	2023	5,006,503	0	0	0	276,182	3,184,947	1,545,374	4,400,000	0	0	0	227,628	2,824,747	1,347,625	
○ 最終処分に関する事業							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
湖西市新最終処分場整備事業	6	湖西市	93,000	m	2024	2030	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	整備は次期 計画で実施
○ 浄化槽に関する事業							179,795	37,762	36,669	30,799	31,125	20,706	22,734	161,761	28,695	30,420	29,446	29,760	20,706	22,734	
浄化槽設置整備事業	3	湖西市	596	基	2018	2023	179,795	37,762	36,669	30,799	31,125	20,706	22,734	161,761	28,695	30,420	29,446	29,760	20,706	22,734	
○ 施設整備に関する計画支援に関する事業							83,171	7,400	24,253	18,353	0	1,155	32,010	81,161	7,400	24,253	18,353	0	1,155	30,000	
湖西市環境センターストックヤード整備(事業番 号1)に係る計画支援事業	31	湖西市	—	—	2018	2022	6,379	1,000	4,224	0	0	1,155	0	6,379	1,000	4,224	0	0	1,155	0	
湖西市環境センター基幹改良(事業番号2)に 係る計画支援事業	32	湖西市	—	—	2018	2020	44,782	6,400	20,029	18,353	0	0	0	44,782	6,400	20,029	18,353	0	0	0	
湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事 (事業番号4)に係る計画支援事業	34	湖西市	—	—	2019	2020	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
湖西市新最終処分場整備事業(事業番号6)に 係る計画支援事業	36	湖西市	—	—	2023	2023	32,010	0	0	0	0	0	0	32,010	30,000	0	0	0	0	30,000	
○ 廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策 定支援に関する事業							12,341	7,000	5,341	0	0	0	0	11,529	6,480	5,049	0	0	0	0	
湖西市環境センター基幹改良(事業番号2)に 係る長寿命化総合計画策定事業	33	湖西市	—	—	2018	2018	7,000	7,000	0	0	0	0	0	6,480	6,480	0	0	0	0	0	
湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事 (事業番号4)に係る長寿命化総合計画策定事 業	35	湖西市	—	—	2019	2019	5,341	0	5,341	0	0	0	0	5,049	0	5,049	0	0	0	0	
合 計							6,370,780	52,162	66,263	109,242	683,980	3,392,122	2,067,011	5,588,250	42,575	59,722	104,912	599,325	3,013,388	1,768,328	

※計画支援の事業番号34にかかる事業費は、事業番号32の事業費に含む。

地域の循環型社会形成推進のための施策の一覧

施策種別	事業番号 ※ 1	施策の名称	施策の内容	実施主体	事業期間 交付期間		交付金の 要否	事業計画						備考
					開始	終了		2018 年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	
発生抑制、 再使用の 推進に 関するもの	11	生活系ごみの有料化	ごみ処理手数料の変更、資源ごみの有料化検討等を進める。	湖西市	2018	2023								
	12	環境教育、普及啓発	環境教育強化、イベントの開催、人材育成等を進める。	湖西市	2018	2023								
	13	各種助成	集団回収の助成、生ごみ処理機購入助成等を進める。	湖西市	2018	2023								
	14	生活排水の汚濁負荷削減	各種啓発活動により、生活排水の汚濁負荷削減を進める。	湖西市	2018	2023								
処理体制の 構築、変更 に関するもの	21	収集方法の変更	旧地区で進めてきたごみ回収方法を、順次統合を進める。	湖西市	2018	2023								
	22	産業廃棄物との併せ処理検討	下水道汚泥を中心に、一般廃棄物処理施設で処理する可能性について、技術面等から調査・研究を進める。	湖西市	2018	2023								
	23	生活排水処理の接続率向上	下水道接続率の向上、合併処理浄化槽による処理の増加。	湖西市	2018	2023								
処理施設の 整備に 関するもの	1	湖西市環境センターストックヤード整備事業	資源化量の増大を目指すストックヤードの建設を推進する。	湖西市	2020	2023	○							
	2	湖西市環境センター基幹改良事業	休止中の熱回収を行う焼却処理施設に先進的設備を導入する。また、二酸化炭素の削減（5%以上）を図る。	湖西市	2021	2023	○							
	3	浄化槽設置整備事業	汚水衛生処理率の向上、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換、高度処理型合併処理浄化槽の設置等を進める。	湖西市	2018	2023	○							
	4	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事	老朽化の進むリサイクルプラザに先進的設備を導入する。また、二酸化炭素の削減（3%以上）を図る。	湖西市	2021	2024	○							2024年に 繰越
	6	湖西市新最終処分場整備事業	最終処分場の建設を進める。	湖西市	2024	2030	○							整備は次期 計画で実施
施設整備に 係る計画 支援に 関するもの	31	湖西市環境センターストックヤード整備（事業番号1）に係る計画支援事業	発注仕様書作成、施工管理等を進める。	湖西市	2018	2022	○	解体事前 調査	発注仕様書 作成		設計			
	32	湖西市環境センター基幹改良（事業番号2）に係る計画支援事業	PFI導入可能性調査、PFIアドバイザー、生活環境影響評価、施工監理を進める。	湖西市	2018	2020	○	導入可能性 調査	PFIアドバイザー 生活環境影響評価					
	33	湖西市環境センター基幹改良（事業番号2）に係る長寿命化総合計画策定事業	長寿命化計画の作成を進める。	湖西市	2018	2018	○	長寿命化計 画作成						
	34	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事（事業番号4）に係る計画支援事業	PFIアドバイザー業務を実施する。	湖西市	2019	2020	○		PFIアドバイザー					
	35	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事（事業番号4）に係る長寿命化総合計画策定事業	長寿命化計画の作成を進める。	湖西市	2019	2019	○		長寿命化計 画作成					
	36	湖西市新最終処分場整備事業（事業番号4）に係る計画支援事業	基本設計等を進める。	湖西市	2023	2023	○						基本設計	次期計画でも継続して 実施
その他	41	再生利用品の需要拡大事業	再生利用の促進を図る。	湖西市	2018	2023								
	42	資源化処理の継続・推進	資源化処理の見直しを実施し、効率化及び安定化を図り拡大実施する。	湖西市	2018	2023								
	43	廃家電のリサイクル	関連団体や小売店と協力して普及啓発を実施するとともに、高品位を中心に回収を実施する。	湖西市	2018	2023								
	44	不法投棄対策	住民、県、警察等との連携を図り、不法投棄の監視体制の強化に努める。	湖西市	2018	2023								
	45	災害時の廃棄物処理	災害時の廃棄物処理について各処理施設の連携強化を進める。	湖西市	2018	2023								

【参考資料様式 1】

施設概要（マテリアルリサイクル施設系）

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市
(2) 施設名称	(仮称) 湖西市環境センター ストックヤード
(3) 工期	2020年度～2023年度
(4) 施設規模	約3,000㎡
(5) 処理方式	保管
(6) 地域計画内の役割	再生利用推進
(7) 廃焼却施設解体 工事の有無	有 ☐ 無 ☒

「ストックヤード」を整備する場合

(8) スtock対象物	小型家電
--------------	------

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(9) 容器包装リサイクル 推進施設の内訳	
--------------------------	--

「灰溶融施設」を整備する場合

(10) スラグの利用計画	
---------------	--

(12) 事業計画額	312,269千円
------------	-----------

施設概要（マテリアルリサイクル施設系）

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市
(2) 施設名称	湖西市環境センター（リサイクルプラザ）
(3) 工期	2021年度～2023年度
(4) 施設規模	30t/5h
(5) 処理方式	引裂式破碎機 衝撃・せん断式破碎機
(6) 地域計画内の役割	基幹的設備の改良により、施設の延命化及びCO2削減（3%以上）
(7) 廃焼却施設解体 工事の有無	有 ☐ 無 ☒

「ストックヤード」を整備する場合

(8) スtock対象物	
--------------	--

「容器包装リサイクル推進施設」を整備する場合

(9) 容器包装リサイクル 推進施設の内訳	
--------------------------	--

「灰溶融施設」を整備する場合

(10) スラグの利用計画	
---------------	--

(12) 事業計画額	787,345千円
------------	-----------

注1 2023年5月8日発災のリサイクルプラザ火災により、工期を1年延長する。

【参考資料様式 2】

施設概要（エネルギー回収施設系）

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市
(2) 施設名称	湖西市環境センター（焼却炉）
(3) 工期	2021年度～2023年度
(4) 施設規模	処理能力102t/日（51t/日×2炉）
(5) 形式及び処理方式	形式：旋回流型流動床式焼却炉 処理方式：全連続式
(6) 余熱利用の計画	1. 発電の有無 ☒ （発電効率 1.6%以上） ・ 無 2. 熱回収の有無 ☒ （熱回収率 21%以上） ・ 無
(7) 地域計画内の役割	基幹的設備の改良により、施設の延命化及びエネルギーの高効率回収、CO2削減（5%以上）
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	有 ☐ ☒ （無）

「ごみ燃料化施設」を整備する場合

(9) 燃料の利用計画	
-------------	--

「メタンガス化施設」を整備する場合

(10) バイオガス熱利用率	
(11) バイオガスの利用計画	
(12) 事業計画額	5,006,503千円

施設概要（最終処分場系）

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市		
(2) 施設名称	(仮称) 湖西市新最終処分場		
(3) 工期	2024年度～2030年度 地盤改良工事：2024年度～2027年度 本体工事：2028年度～2030年度		
(4) 処分場面積、容積	総面積 131,976㎡	埋立面積 約16,000㎡	埋立容積 約93,000㎡
(5) 処分開始年度及び終了年度	埋立開始 2030年度 埋立終了 2059年度 (1期埋立地 15年間、2期埋立地 15年間を計画)		
(6) 跡地利用計画	災害発生時の廃棄物仮置場としての活用を計画している。		
(7) 地域計画内の役割	適切かつ安定的な最終処分の実現に資する。		
(8) 廃焼却施設解体工事の有無	有 ☒ 無 ☐		
(9) 事業計画額	2,500,000千円		

※当該施設整備は次期計画期間中に実施予定だが、計画支援は現行計画中に実施するため、参考として施設概要を掲載する。

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活環境を保全するために合併処理浄化槽の普及を図るものである（個人設置型）。
(4) 事業期間	2018年度 ～ 2023年度
(5) 事業対象地域の要件	第3（1）アの（カ）及び（キ）に規定する地域
(6) 事業計画額	交付対象事業費 161,761千円 うち ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費 123,733千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (人分)	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	445基 (1,139人分)	101,450	111,240	101,450
6～7人槽	121基 (309人分)	48,933	56,889	48,933
8～10人槽	28基 (71人分)	10,173	10,461	10,173
11～20人槽	1基 (0人分)	469	469	469
21～30人槽	1基 (0人分)	736	736	736
31～50人槽	基 (人分)			
51人槽以上	基 (人分)			
浄化槽整備 効率化事業 費	台帳作成費			
	計画策定等調査費			
合 計	596基 (1,519人分)	161,761	179,795	161,761

【公共浄化槽等整備推進事業の場合】

区分	交付対基数 (人分)	基準額	対象経費 支出予定額	交付対象 事業費
5人槽	基 (人分)			
6～7人槽	基 (人分)			
8～10人槽	基 (人分)			
11～15人槽	基 (人分)			
16～20人槽	基 (人分)			
21～25人槽	基 (人分)			
26～30人槽	基 (人分)			
31～40人槽	基 (人分)			
41～50人槽	基 (人分)			
51人槽以上	基 (人分)			
共同浄化槽	人槽 基 (人分) 人槽 基 (人分) 人槽 基 (人分)			
事務費				
浄化槽整備 効率化事業 費	台帳作成費			
	調査費			
	計画策定等調査費			
合 計	基 (人分)			

計画支援概要

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市
(2) 事業目的	湖西市環境センターに不足しているストックヤードを整備する。
(3) 事業名称	湖西市環境センタースtockヤード整備事業（事業番号1）に係る計画支援事業
(4) 事業期間	2018年度～2022年度
(5) 事業概要	最終処分場整備に係る基本設計
(6) 事業計画額	6,379千円

計画支援概要

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市	
(2) 事業目的	湖西市環境センター（リサイクルプラザ）の基幹的設備改良工事を実施し長寿命化を図る。	
(3) 事業名称	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事（事業番号4）に係る計画支援事業	湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事（事業番号4）に係る長寿命化総合計画策定事業
(4) 事業期間	2019年度～2020年度	2019年度
(5) 事業概要	湖西市環境センターの基幹改良にかかるPFIアドバイザー	湖西市環境センター（リサイクルプラザ）に係る長寿命化計画の作成
(6) 事業計画額	—	5,341千円

※注

「湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事（事業番号4）に係る計画支援事業」は、次ページ「湖西市環境センター基幹改良（事業番号2）に係る計画支援事業」と一括発注の為、事業計画額は次ページに合計記載し、上表は「—」とした。

計画支援概要

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市	
(2) 事業目的	湖西市環境センター（焼却炉）の基幹的設備改良工事を実施し長寿命化を図る。	
(3) 事業名称	湖西市環境センター基幹改良（事業番号2）に係る計画支援事業	湖西市環境センター基幹改良（事業番号2）に係る長寿命化総合計画策定事業
(4) 事業期間	2018年度～2020年度	2018年度
(5) 事業概要	湖西市環境センターの基幹改良にかかるPFI導入可能性調査、PFIアドバイザー、生活環境影響評価	湖西市環境センターに係る長寿命化計画の作成
(6) 事業計画額	44,782千円	7,000千円

※注

「湖西市環境センター基幹改良（事業番号2）に係る計画支援事業」は、前ページ「湖西市環境センターリサイクルプラザ改良工事（事業番号4）に係る計画支援事業」と一括発注の為、事業計画額は合計額を記載し、前ページは「－」とした。

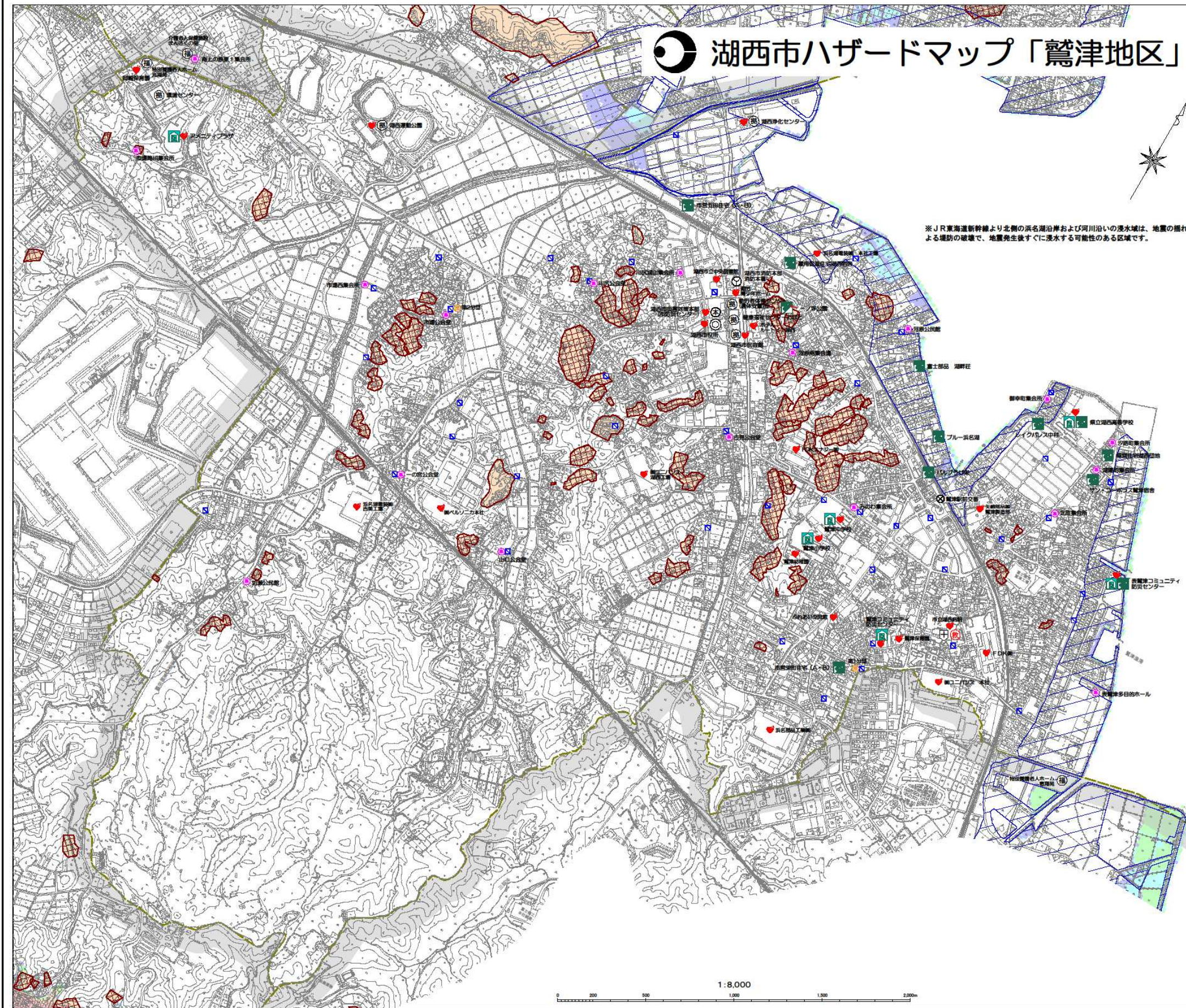
計 画 支 援 概 要

都道府県名 静岡県

(1) 事業主体名	湖西市	
(2) 事業目的	新たな最終処分場を建設することで、適切かつ安定的な最終処分の確保を図る。	
(3) 事業名称	湖西市新最終処分場整備事業（事業番号6）に係る計画支援事業	
(4) 事業期間	2023年度	【参考記載】（次期計画） 2026年度～2027年度
(5) 事業概要	最終処分場整備に係る基本設計	【参考記載】（次期計画） 最終処分場整備に係る生活環境影響調査、実施設計
(6) 事業計画額	32,010千円	【参考記載】（次期計画） 65,000千円

※次期計画期間中に整備する最終処分場の計画支援のため、参考に次期計画の内容も記載している。

平成三十年 三月作成



湖西市ハザードマップ「鷺津地区」

※ JR東海道新幹線より北側の浜名湖沿岸および河川沿いの浸水域は、地震の揺れによる堤防の破壊で、地震発生後すぐに浸水する可能性がある区域です。

凡 例			
---	県 界	---	市 界
---	地区 界		
◎	市 役 所	◎	消防本部・消防署本署
○	支 所	◎	消防署分署
⊗	警察・交番	⊗	耐震性防火水槽 (40t以上)
⊕	消防団詰所	⊕	地区公民館・公会堂等
→	避難路		

災害危険箇所一覧		
津波浸水深	0.3m未満 0.3m～1.0m 1.0m～2.0m 2.0m～3.0m 3.0m～5.0m 5.0m～10.0m 10.0m～20.0m	この津波浸水深は、静岡県第4次地震被害想定で公表された想定の中で、津波浸水深が最大になる場合(レベル2※)を示しています。 ※レベル2...起こる可能性は低いが、もし起こると甚大な被害が予想される地震・津波の想定
	安政東海地震想定浸水域(1854年)	歴史資料、痕跡などをもとに推定した、1854年に起こった安政東海地震の津波浸水域です。
	土砂災害危険箇所	がけ崩れ、土石流の危険があるところ。
	土砂災害警戒区域	土砂災害危険箇所のうち、土砂が到達する恐れがある区域として県が指定した場所です。指定された区域は、個別のハザードマップの作成が義務付けられます。

※第4次地震想定では、震度分布・液状化危険度なども確認できます。詳しくは静岡県ホームページで。
<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/4higaisoutai/index.html>
静岡県第4次地震被害想定

防災記号凡例	
記 号	説 明
◎	災害対策本部 (市防災センター)
◎	救護所
◎	救護病院
◎	防災拠点
◎	避難所
◎	福祉避難所
◎	津波避難施設 ※1
◎	津波避難場所 ※2
◎	AED設置箇所 ※3

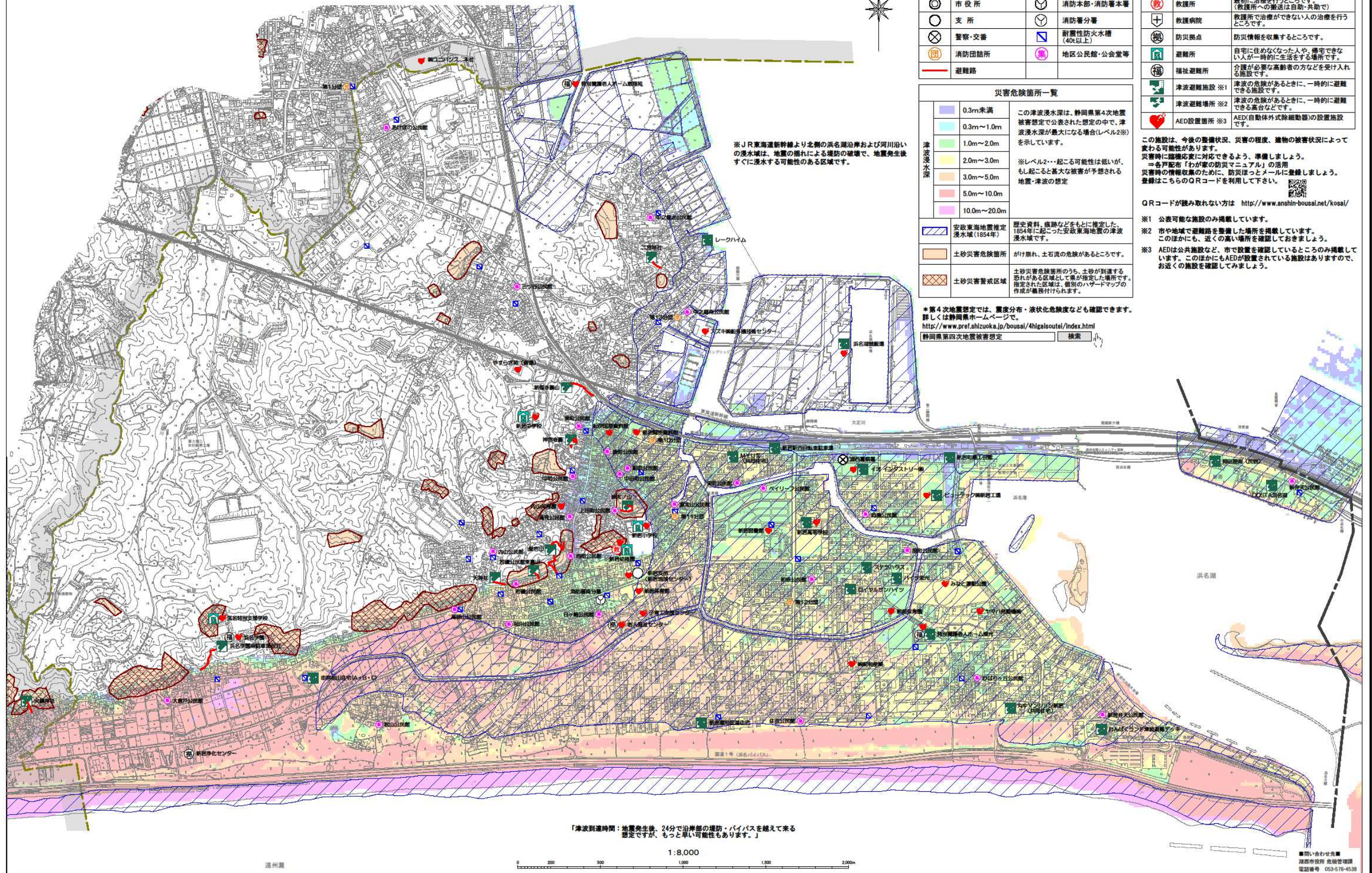
この施設は、今後の整備状況、災害の程度、建物の被害状況によって変わる可能性があります。
災害時に臨機応変に対応できるよう、準備しましょう。
→各戸配布「わが家の防災マニュアル」の活用
災害時の情報収集のために、防災はつとメールに登録しましょう。
登録はこちらのQRコードを利用して下さい。

QRコードが読み取れない方は <http://www.anshin-bousai.net/kosai/>
※1 公表可能な施設のみ掲載しています。
※2 市や地域で避難路を整備した場所を掲載しています。このほかにも、近くの高い場所を確認しておきましょう。
※3 AEDは公共施設など、市で設置を確認しているところのみ掲載しています。このほかにもAEDが設置されている施設はありますので、お近くの施設を確認しましょう。

制作：い合わせ企画
湖西市役所 危機管理課
電話番号 053-576-4538

湖
西
市

湖西市ハザードマップ「新居地区」



凡 例	
--- 県 界	--- 市 界
--- 地区 界	
◎ 市 役 所	消防本部・消防署本署
○ 支 所	消防署分署
⊗ 警察・交番	耐震性防火水槽 (40t以上)
消防団詰所	地区公民館・公会堂等
避難路	

災害危険箇所一覧	
津波浸水深	この津波浸水深は、静岡県第4次地震被害想定で公表された想定の中で、津波浸水深が最大になる場合(レベル2※)を示しています。
0.3m未満	
0.3m～1.0m	
1.0m～2.0m	
2.0m～3.0m	
3.0m～5.0m	
5.0m～10.0m	
10.0m～20.0m	
安政東海地震想定浸水域 (1854年)	歴史資料、痕跡などをもとに推定した、1854年に起こった安政東海地震の津波浸水域です。
土砂災害危険箇所	がけ崩れ、土石流の危険があるところ。
土砂災害警戒区域	土砂災害危険箇所のうち、土砂が到達する恐れがある区域として県が指定した場所。指定された区域は、個別のハザードマップの作成が義務付けられます。

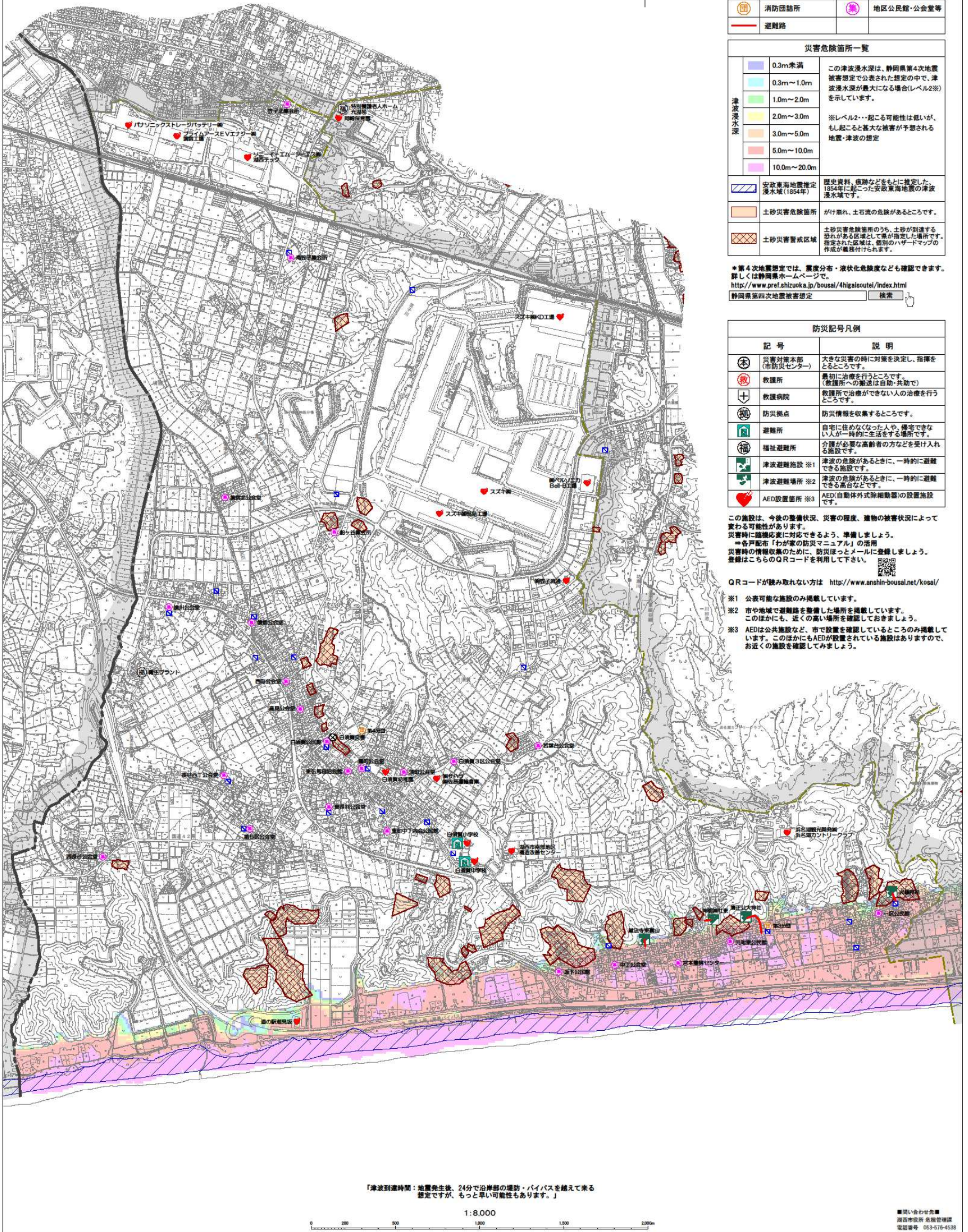
※第4次地震想定では、震度分布・液状化危険度なども確認できます。詳しくは静岡県ホームページ。http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/4higaisoutai/index.html
静岡県第4次地震被害想定

防災記号凡例	
記 号	説 明
◎	災害対策本部 (市防災センター)
◎	救護所
◎	救護病院
◎	防災拠点
◎	避難所
◎	福祉避難所
◎	津波避難施設 ※1
◎	津波避難場所 ※2
◎	AED設置箇所 ※3

この施設は、今後の整備状況、災害の程度、建物の被害状況によって変わる可能性があります。
災害時に臨機応変に対応できるよう、準備しましょう。
⇒各戸配布「わが家の防災マニュアル」の活用
災害時の情報収集のために、防災はとメールに登録しましょう。登録はこちらのQRコードを利用して下さい。
QRコードが読み取れない方は <http://www.anshin-bousai.net/kosai/>
※1 公表可能な施設のみ掲載しています。
※2 市や地域で避難路を整備した場所を掲載しています。このほかにも、近くの高い場所を確認しておきましょう。
※3 AEDは公共施設など、市で設置を確認しているところのみ掲載しています。このほかにもAEDが設置されている施設はありますので、お近くの施設を確認してみましょう。

お問い合わせ先
湖西市役所 危機管理課
電話番号 053-478-4538

湖西市ハザードマップ「白須賀地区」



凡 例			
--- 県 界	--- 市 界		
--- 地 区 界			
○ 市 役 所	○ 消防本部・消防署本署		
○ 支 所	○ 消防署分署		
⊗ 警察・交番	⊗ 耐震性防火水槽 (40t以上)		
⊕ 消防団結所	⊕ 地区公民館・公会堂等		
— 避難路			

災害危険箇所一覧		
津波浸水深	0.3m未満	この津波浸水深は、静岡県第4次地震被害想定で公表された想定の中で、津波浸水深が最大になる場合(レベル2※)を示しています。 ※レベル2…起こる可能性は低い、もし起こると甚大な被害が予想される地震・津波の想定
	0.3m～1.0m	
	1.0m～2.0m	
	2.0m～3.0m	
	3.0m～5.0m	
	5.0m～10.0m	
	10.0m～20.0m	
安政東海地震想定浸水域 (1854年)		歴史資料、痕跡などをとって推定した、1854年に起こった安政東海地震の津波浸水域です。
土砂災害危険箇所		がけ崩れ、土石流の危険があるところです。
土砂災害警戒区域		土砂災害危険箇所のうち、土砂が到達する恐れがある区域として県が指定した場所です。指定された区域は、個別のハザードマップの作成が義務付けられます。

※第4次地震想定では、震度分布・液状化危険度なども確認できます。
詳しくは静岡県ホームページで。
<http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/4higaisoutai/index.html>
静岡県第4次地震被害想定 検索

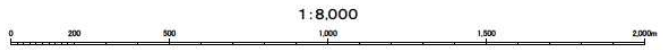
防災記号凡例	
記 号	説 明
本	災害対策本部 (市防災センター)
救	救護所
+	救護病院
機	防災拠点
福	避難所
福	福祉避難所
津波避難施設 ※1	津波の危険があるときに、一時的に避難できる施設です。
津波避難場所 ※2	津波の危険があるときに、一時的に避難できる高台などです。
心	AED設置箇所 ※3

この施設は、今後の整備状況、災害の程度、建物の被害状況によって変わる可能性があります。
災害時に臨機応変に対応できるよう、準備しましょう。
＝各戸配布「わが家の防災マニュアル」の活用
災害時の情報収集のために、防災ほっとメールに登録しましょう。
登録はこちらのQRコードを利用して下さい。

QRコードが読み取れない方は <http://www.anshin-bousai.net/kosai/>

※1 公表可能な施設のみ掲載しています。
※2 市や地域で避難路を整備した場所を掲載しています。このほかにも、近くの高い場所を確認しておきましょう。
※3 AEDは公共施設など、市で設置を確認しているところのみ掲載しています。このほかにもAEDが設置されている施設はありますので、お近くの施設を確認してみましょう。

「津波到達時間：地震発生後、24分で沿岸部の堤防・バイパスを越えて来る想定ですが、もっと早い可能性もあります。」



お問い合わせ先
湖西市役所 危機管理課
電話番号 053-576-4538

湖西市循環型社会形成推進地域計画

平成 29（2017）年 12 月

平成 30（2018）年 11 月変更

令和 2（2020）年 11 月変更

令和 3（2021）年 12 月変更

令和 4（2022）年 12 月変更

令和 5（2023）年 12 月変更

発行：湖西市環境部廃棄物対策課

TEL 053-577-1280

FAX 053-577-3253